

6. あとがき

近年までの驚異的な経済発展に伴って、わが国においても多数の社会基盤が蓄積されてきた。しかし、最近の経済の低迷と、今後も著しい改善が望めないとの予測から、今後は、これまでのような速度での社会基盤の増加は望めないものと思われる。このため、これまで蓄積されてきた社会資本を維持・管理し、時代の使用状況に対応した補修・補強を行うことの重要性は、今後、ますます増大するものと思われる。

本報告書は、これらの社会資本のうち道路橋構造物に的を絞って、これらを、鋼橋、コンクリート橋、橋脚構造物、および、橋梁付属物の4種類に分類し、それらのそれぞれについて、劣化や震災による損傷事例とその補修・補強事例、あるいは、荷重の増大などによる補強事例についての調査・検討を行い、その結果を紹介するとともに、補修・補強工法の選定にあたっての検討事項について整理したものである。さらに、既設橋梁の調査・点検要領や結果の評価・判定方法についても各項目ごとに検討を加え整理している。

本報告書が今後の道路橋構造物の補修・補強工法を検討する際の一助となれば幸いである。

謝辞

本調査研究を進めるに伴い、道路橋構造物の補修・補強に関連のある様々の分野の専門家に、専門分野についての御講演をいただき情報を提供していただくと共に、調査研究の方向性の指標とさせていただいた。ご講演いただいた講師の先生方の氏名、および、講演題目は、以下の表に示すとおりである。

また、建設省近畿地方建設局和歌山工事事務所調査第二課田中貢課長のお世話で建設省土木研究所で実施されていた橋脚関係の実験状況を見学させていただくと共に、同所橋梁研究室の西川和廣室長には耐震補強に関する解説と最新の情報を御提供いただいた。

さらに、本報告書を作成する際にもこれらの知見を入れさせていただいた。ここに記して謝意を表する次第である。

講師氏名	所 属	講 演 題 目
植村 政彦	(株)東燃 トウシート事業室部長	カーボン繊維による構造物の補強について
小塚 均	川口金属工業(株) 大阪支店設計部部長	鋼製支承の構造と損傷事例について
清水 秀雄	オイレス工業(株) 第二事業部部長	積層ゴムを用いた免震支承の概要と特長
葛目 和宏	(株)国際建設技術研究所 取締役社長	橋梁の調査・点検について
松村 誠	(株)鴻池組 土木設計部構造設計課課長	カーボン繊維による橋脚の補強実験について
山田 靖則	高田機工(株) 設計部部長代理	支承とその周辺の損傷事例について
山下 英俊	(株)間組 技術研究所主任研究員	R C橋脚の耐震補強工法について